

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京田辺市立三山木小学校	階数	地上4F
建設地	京都府京田辺市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	1,944 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2014年3月1日
敷地面積	17,337 m <sup>2</sup>	作成者	福井 淳史
建築面積	2,564 m <sup>2</sup>	確認日	2014年3月1日
延床面積	5,799 m <sup>2</sup>	確認者	福井 淳史



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 88%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 校区周辺の開発による児童数増加に対応するための校舎増築である。既設校舎を残し、敷地西側に普通教室、給食室棟を計画している。教室は南側に面して配置し、採光・通風に考慮している。既設校舎棟と一体性を持たせるように、外壁の使用材料、開口部の大きさを合わせ、統一感と調和のとれた建物として、まちなみに創出出来るよう工夫している。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 国交省仕様、文科省学校環境衛生基準に沿って計画している。各教室に空調機とシーリングファンを設置しており、きめ細かい室温制御が可能となっている。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理しやすい建物となるように、清掃しやすい材料・耐久性のある材料を選定している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 外観を既設校舎棟に倣い、建築物全体として調和が取れた形態・意匠としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電を利用したシステムとしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の機器を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ゴミ置き場のスペースを確保し、分別できるようにしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される